

南長浜地域まちづくりビジョン

2050

未来に向けた挑戦と希望のコンパス

目次

#1 はじめに	2	#4 南長浜地域のまちの将来像	4
#2 ビジョンの概要	4	・基本理念	
・ビジョン策定の背景、目的		・まちづくりコンセプト	
・ビジョンの目標年次		・未来に暮らす人のすがた(未来ペルソナ)	
・ビジョンの対象範囲		・未来エコシステムマップ	
・対象範囲図		#5 まちづくりの展開	4
・ビジョンの構成		・まちづくりの方針	
#3 南長浜地域のすがた	2	・全体ゾーニング	
・まちの歴史		・ゾーン別の役割、主な取組、社会インパクト	
・まちの特長		・ロードマップ	
・地域の思い		#6 ビジョンの実現に向けて	4
		・まちづくりの方針	
		・全体ゾーニング	
		・ゾーン別の役割、主な取組、社会インパクト	
		・ロードマップ	

#1

はじめに

未来へつなぐ、希望のまちへ

イラスト検討中

2050年——それは、私たちが次の世代へ託す未来の姿が形となる時代。
そのとき、私たちが描こうとする南長浜はどのような姿を見せているのでしょうか？

受け継いだ豊かな自然と歴史が息づきながら、時代の変化を柔軟に受け入れ、
新たな価値と可能性に満ちたまちになっている——
そんな未来を、皆さんとともに描きたいと思っています。

この「まちづくりビジョン」は、「ここで暮らしたい」「ここで働きたい」
「このまちを誇りに思いたい」と誰もが願う、未来に向けた挑戦と希望のコンパスです。

20年前、スマートフォンを持ち歩く生活を、どれほどの人が想像したでしょうか。
わずか5年前、コンピュータとの創造的な対話が可能となる未来を、
どれだけの人が予想できていたでしょうか。

技術の進歩は驚異的です。10年後、そして20年後の私たちの暮らしは、
今とは大きく異なっているかもしれません。

人型ロボットが家族の一員になり、自動運転が移動の概念を変え、
旅行先が地球を越えて宇宙へ広がる、そんな未来が待っているかもしれません。

しかし、どんなにテクノロジーが進化しても、人と人が直接交え合い、
多様な価値観を認め合う、温かいコミュニティの絆が失われることはありません。

私たちは、未来を担う子どもたちが大きな夢を描き、誰もが安心して暮らせる、
そんなまちを実現したいと思っています。

その未来をつくるため、今、私たちが一歩を踏み出すことが必要です。
今日の行動が明日の輝きを生み出し、次の世代へと希望のバトンを渡していくのです。

このビジョンと共に、幸せを実感できる未来を、皆さんと一緒に描いていきましょう。

#2

ビジョンの概要

1 ビジョン策定の背景、目的

長浜市は、「働き」や「子育て」など人々のライフステージの中で「定住」を決定する際に選ばれる
にいて現状があります。その結果、若者の転出超過やリターン者の減少により、深刻な高齢化が進
んでいる。

その要因として、魅力的な就職先が不足していること、自らの能力を活かせる活躍の場が乏しい
こと、大都市と比較して不便な生活環境などが挙げられます。

こうした課題に対応するため、長浜市では、長浜市に暮らす若者が、現在も、将来も魅力を感じら
れるまちを創ることをめざし、長浜市総合計画第3期基本計画に掲げる重点プロジェクト「それぞ
れの地域が魅力を高める『持続的なまちづくり』プロジェクト」の一環として、南長浜地域のまち
づくりを進めています。

このビジョンは、令和5年度に策定した「南長浜地域まちづくりコンセプト」(まじわり、未来がそ
だつまち)に基づき、活かされていない地域の豊富なアセットに目を向け、当該地域に必要な機
能や取組などをゾーンとして落とし込み、変化していく地域の姿を長期的な段階的なまちづくりの
展開を示すものです。

このビジョンは、今後の関連計画に反映させながら、持続可能な地域の発展をめざします。

2 ビジョンの目標年次

本ビジョンは、2050年を最終目標年次とし、そこに至るまでの段階的な目標年次を設定します。※
ロードマップ参照

3 ビジョンの対象範囲

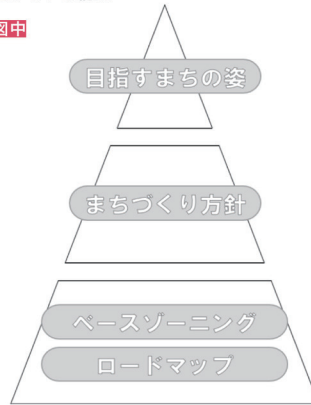
南長浜地域は、概ね長浜南小学校区を対象範囲とします。



#2——ビジョンの概要

4 ビジョンの構成

作図中



まじわり、未来がそだつまち

豊富な地域アセットを主とし、産学官連携、地域振興、IT技術等を活用した先進的取組により、次のまちの実現を図る。

- 魅力ある産業「働く場」
- 人を呼び込む「活躍の場」
- 未来を先取りした「持続可能なまち」

ゲートウェイ

市域最南部に位置する立地特性や交通利便性を活かして、人や資本が集まるハブ機能を担う。

インキュベーション

高校や大学などの学びの場や医療福祉施設を起点にして、南長浜にリソースのある「食・住・通学」領域のビジネスや産業のインキュベーションを推進する。

インキュベーション

南長浜においてこれまで継承されてきた伝統や自然をのこしながら、ICTなどの最先端のテクノロジーが融合した新しい住まい、働き方、モビリティなどのライフスタイルを実現する。

リラクスパークゾーン

内外交流ゾーン

メディカルゾーン

産業ゾーン

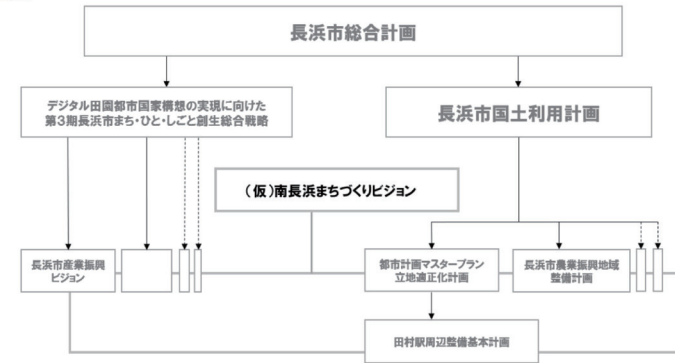
SIC活用ゾーン

ライフスタイルゾーン

#2——ビジョンの概要

【他関連計画との関係性】

作図中



#3

南長浜地域のすがた

1 まちの歴史

写真
選定中

南長浜地域のまちづくり変遷

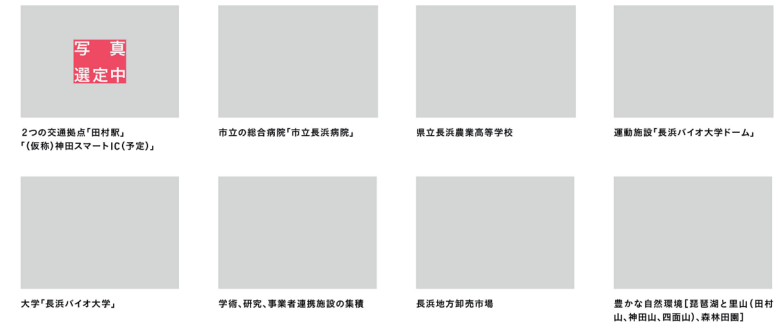
- 昭和6年 田村駅 新設
- 昭和50年 滋賀文教短期大学創立
- 昭和62年 国鉄分割民営化により田村駅がJR西日本駅となる
都市計画市場として長浜地方卸売市場の決定
- 平成8年 市立長浜病院が現在地に移転開院
- 平成15年 長浜バイオ大学(私立)創立
- 平成24年 下坂中地区、田村地区、寺田地区、田村駅東地区
4地区において地区計画(一部H27)策定、市街化区域編入(一部H27)
- 平成30年 『田村駅周辺整備基本計画』策定
- 令和2年 南長浜まちづくり検討会議
- 令和3年 南長浜地域ビジョン検討会議
- 令和4年 長浜市総合計画第3期基本計画策定
同計画内の重点プロジェクトに「南長浜地域まちづくり検討事業」を設定
(仮称)神田スマートIC事業化決定
- 令和5年 南長浜地域まちづくり検討事業スタート
南長浜地域まちづくり共創会議・検討会議
ワークショップ[co-creation meeting](2回)
『南長浜地域まちづくりコンセプト for 2050』を策定

#3——南長浜地域のすがた

2 まちの特長

交通拠点である田村駅や近い将来完成する(仮称)神田スマートIC、
大学に農業高校などの教育機関、集積した学術研究施設、総合病院、長浜ドーム、
自然豊かな里山やびわ湖、実り多き田園地帯など、様々な都市アセットが豊富にあります。

南長浜地域の特徴



2 地域の思い

本ビジョンの検討にあたり、現役世代及び将来世代へのインタビューとワークショップを開催し、南長浜に対する思いや考えをお聞きました。

10代

ここにいたくなるまち、帰ってきたいくなるまちになって欲しい。

駅周辺に遊べる場所があると良い。

子育てしやすい環境、子どもにやさしいまちになると良い。

このまま何も変わらず、自然が残って欲しい。

20代

車がなくても買い物できる場所。

駅近くに勉強できるスペースや遊べる施設が欲しい。

地域のつながりは適度にあって欲しい。

今ある自然や風景は残っていて欲しい。

ずっと住み続けたい。趣味などを通じて地域と繋がっていたい。

30代

長浜市のまちづくりに関わっていたい。

ゆとりある暮らしができるまち(都会と比較して)。

交通手段の改善。

環境やエネルギー問題に、地域全体で取り組めるまち。

40代・50代

元気で趣味や生きがいを持って暮らしたい。

子どもが自由に遊べる場所。

ご近所さんと集える場所や関係性。

交通手段の改善。買い物や通院のための仕組みづくり。

60代

地域内でエネルギーの自給ができる仕組み。

自然が残る適度な開発。

車中心の社会ではなく、自転車とも共存した仕組みづくり、道づくり。

週休3日制になり、余暇を地域の自然やコミュニティ活動、文化活動に使う。

地域コミュニティを大事にして、助け合えるまち。

車がなくても買い物できる環境(ドローン宅配など)。

3 まちづくりワークショップ

ワークショップは、南長浜のまちづくりを検討するスタートアップイベントとして、どうすれば若者が集まるまちになるかをテーマにアイデアを伺いました。

自然を活かした、観光施設を整備し、黒壁との相乗効果がある

アウトドアの拠点があれば広がりをもてるポテンシャルがある
ピクニックのブランド化

自転車・カヌー等様々なツールを使った
周回へのアクセス

写真が撮りたくなる場所、自然を活かした美術館等、長浜で日遊べるように。

グランピング+黒壁の客層が多い。歴史探訪とグランピングなど様々な組み合わせ

中心市街地の観光後、このエリアにアルファで立ち寄れるスポットがあると良い

都会の人に来てもう一地域に戻ってきたいと思える地域
日帰りで過ごせる場所として最高

若者が外から来て、楽しめる場所

若者が外を歩いているのが見えるような地域

トレンドと文化・歴史が両立できる地域

言語(方向性・志向・共感性)が合えば集まってくる人たちがいる

遊ぶところ、レジャー施設がたくさんあり、にぎわっている

仕事と遊び(レジャー)が両立できるエリア

働く場所、企業(起業)と若者のつながり

安心して暮らせる地域
ストレスを発散できるエリア

癒しのある地域

教育+αを学べる、体験できる

子どもたちが楽しめる、住みたいと思える

保育園や幼稚園の充実
遊びが充実していることが重要

時間を過ごせる空間があれば良い

バイオ大学を中心とした発酵文化、世界的なトレンドをけん引できる地域
学生にとって学びたい学科がほしい

学びを生かした就職先があってほしい

バイオ大学で学んだ学生が地域に就職できるような企業があればいい

第2のサイエンスパーク「知の集積」が必要

ベンチャー企業等、長浜にない業種の企業を誘致

企業誘致も給与水準や研究所、ホワイトカラー等、ニーズがあるものがあればいい

大学生と地域との関わりを増やす

サテライトオフィス(ピクニックベース)までのバス等があれば
バイオ大学の講義、えきまちテラスでやりたい

自然を残しつつうえでの市街地化

住環境の充実(賃貸物件の選択肢を増やす)

自給自足の体験ができる住宅

映画館等、若者が好むコンテンツがあればいい

生活圏と市街地が近く、自転車ですぐ生活できる地域
自治会や地域として、柔軟に対応できるようにする事が大切(若者の意見を聞く)

#4 南長浜地域のまちの将来像

1 基本理念像

南長浜地域は、自然景観や文化、さらにここにしかない機能(施設)が豊富にあるところが他地域と差別化でき、さらに特筆すべきなのは、こうした要素が程よく有って両立しており、それぞれが重要な要素を形成して機能しあっている。"ちよと良"存在している点です。こうした地域資源や機能を最大限活かして、地域内外から人(特に若者)や資本を集積させます。

また南長浜は、ここに集い新たな挑戦を試行するスタートアップの場として絶好のフィールドと言えます。産学官連携やIT・AI技術等を活用した革新的・先進的な取組により、魅力ある産業を誘致し「働く場」をつくることと、「活躍の場」の創出により人を呼び込みむなど、長浜市全体に好循環をもたらすリーディングエリアとした未来を先取りしたまちづくりを進めます。

2 まちづくりコンセプト

まちづくりのコンセプトを「まじわり、未来がそだつまち」とし、「このす」「そだつ」「まじわる」の3つの視点を重視しつつ、2050年にあるべき賑わいや他地域をけん引する先進的な取組を行います。

このす



- ・地域古来の歴史や伝統文化、神社仏閣が維持され、次世代へ引き継がれている。
- ・里山、田園、溜池など、固有の豊かな自然や景観が保全されている。
- ・地域で支えあう市民活動の仕組みが継承され、機能している。
- ・大学や高校などの教育インフラを背景として地域の担い手や世界に羽ばたく人材が育つ。
- ・誰もがチャレンジできる場や機会が豊富にあり、新しい仕組みや活動が誕生・広まっています。
- ・地域固有の資源や知の集積を活かして、産業にとって魅力ある新たなビジネスが次々と創出される。
- ・賑わいを創出する店舗や施設が立地している。
- ・健康管理・医療・介護・福祉サービスが充実している。
- ・食料や再生可能エネルギーなどの地産地消が広がっている。
- ・歴史や伝統文化、故郷の風景、市民活動等を通じて愛着や誇りが醸成される。

- ・高い交通利便性を背景に、長浜に人や資本を呼び込むゲートウェイとして機能している。
- ・地域内外の若者が集まり、様々な分野で活発に交流、活動している。
- ・地域資源を活かして交流・関係人口が増え、交流・活動している。
- ・バイオなど先進的な知の集積がある一方で、昔ながらの伝統(「縁」等)が存在しており「新しいモノ・コト」と「古き良きモノ・コト」が共存している。
- ・「デジタル」と「アナログ」、「ファスト」と「スロー」など、これまで相対と捉えていたヒト、モノ、コトをともに地域の価値として、人々を惹きつけている。

40代の南長浜来訪者



向井 太郎

性別: 19歳(2031年生)

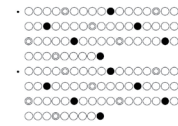
性別: 男性

見慣: 長浜市鳥羽上町

家族構成: 父母実家暮らし

現住所: 長浜市鳥羽上町

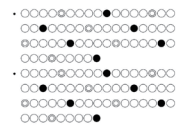
将来像



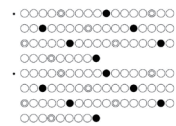
日常生活

- ・仕事①: 京都にある大学で福祉関係を学ぶ一年生。VR空間で授業が行われるため、平日は家にいることが多い。
- ・仕事②: 地元の友人と起業し、地域の観光業を盛り上げる事業に従事している。
- ・休日: 大学の友人たちとグランピングをしたり、外で身体を動かすことが多い。
- ・趣味: 長浜の美味しいものを食べ歩いている。

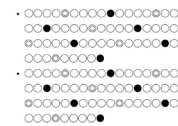
価値観



楽しいこと



困りごと



30代の移住者夫婦2人世帯



向井 太郎

性別: 19歳(2031年生)

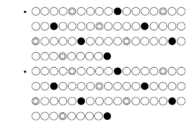
性別: 男性

見慣: 長浜市鳥羽上町

家族構成: 父母実家暮らし

現住所: 長浜市鳥羽上町

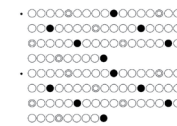
将来像



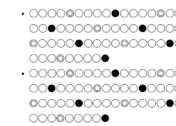
日常生活

- ・仕事①: 京都にある大学で福祉関係を学ぶ一年生。VR空間で授業が行われるため、平日は家にいることが多い。
- ・仕事②: 地元の友人と起業し、地域の観光業を盛り上げる事業に従事している。
- ・休日: 大学の友人たちとグランピングをしたり、外で身体を動かすことが多い。
- ・趣味: 長浜の美味しいものを食べ歩いている。

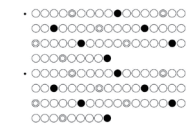
価値観



楽しいこと



困りごと



30代の二世帯同居



向井 太郎

性別: 19歳(2031年生)

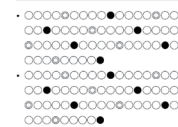
性別: 男性

見慣: 長浜市鳥羽上町

家族構成: 父母実家暮らし

現住所: 長浜市鳥羽上町

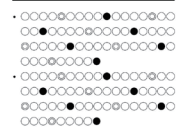
将来像



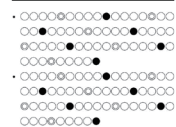
日常生活

- ・仕事①: 京都にある大学で福祉関係を学ぶ一年生。VR空間で授業が行われるため、平日は家にいることが多い。
- ・仕事②: 地元の友人と起業し、地域の観光業を盛り上げる事業に従事している。
- ・休日: 大学の友人たちとグランピングをしたり、外で身体を動かすことが多い。
- ・趣味: 長浜の美味しいものを食べ歩いている。

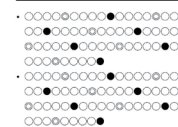
価値観



楽しいこと



困りごと



単身40代



向井 太郎

性別: 19歳(2031年生)

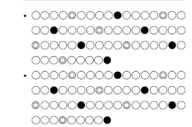
性別: 男性

見慣: 長浜市鳥羽上町

家族構成: 父母実家暮らし

現住所: 長浜市鳥羽上町

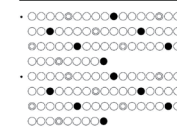
将来像



日常生活

- ・仕事①: 京都にある大学で福祉関係を学ぶ一年生。VR空間で授業が行われるため、平日は家にいることが多い。
- ・仕事②: 地元の友人と起業し、地域の観光業を盛り上げる事業に従事している。
- ・休日: 大学の友人たちとグランピングをしたり、外で身体を動かすことが多い。
- ・趣味: 長浜の美味しいものを食べ歩いている。

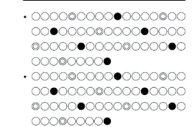
価値観



楽しいこと

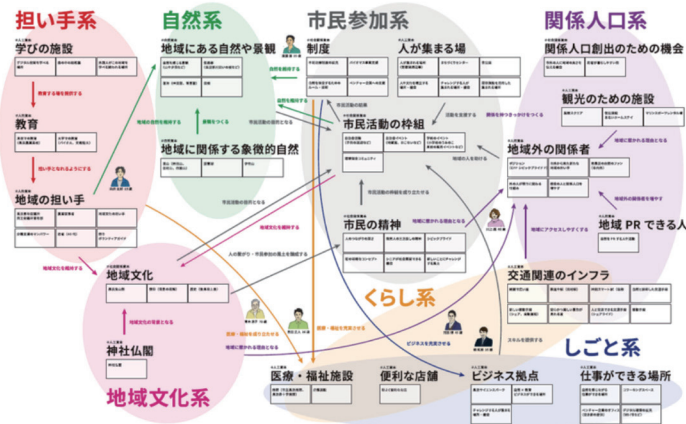


困りごと



#4——南長浜地域のまちの将来像

4 未来エコシステムマップ 2050年の南長浜地域の姿(社会構造)を、図形化してまとめました。



南長浜地域まちづくりビジョン 21

#5 まちづくりの展開

「まじわり、未来がそだつまち」というまちづくりコンセプトを実現するために、3つの重点テーマがあります。このテーマは行政の組織や民間企業の業種を超えた領域横断的なテーマであり、それぞれの地域資源が相互に関係し合うことで新しい価値を生み出すものです。テーマにおける小さな実践が、幾度も重なって大きなインパクトにつながっていくことを狙います。

ゲートウェイ

南長浜地域の最大の特徴の一つはJR田村駅、東海道新幹線米原駅からのアクセス、新設の(仮称)市田SICによる交通利便性にあります。

南長浜地域は、交通利便性を活かして、人の往來の入口(ゲートウェイ)となる可能性を持ちます。観光客や帰郷居住者などの関係人口は、ゲートウェイである南長浜を経由して長浜に流入します。こうした特徴を生かすことで、南長浜地域は、関係人口と地域住民が交流する場所となります。

ライフスタイル

南長浜地域の最大の特徴の一つはJR田村駅、東海道新幹線米原駅からのアクセス、新設の(仮称)神田SICによる交通利便性にあります。

南長浜地域は、交通利便性を高めて、人の往来の入口(ゲートウェイ)となる可能性を待ちます。

観光客や二拠点居住者などの関係人口は、ゲートウェイである南長浜を経由して長浜に流入します。こうした特徴を生かすことで、南長浜地域は、関係人口と地域住民が交流する場所となります。

インキュベーション

南長浜地域の最大の特徴の一つはJR田村駅、東海道新幹線米原駅からのアクセス、新設の(仮称)神田SICによる交通利便性にあります。

南長浜地域は、交通利便性を活かして、Uの往来の入口(ゲートウェイ)となる可能性を持ちます。

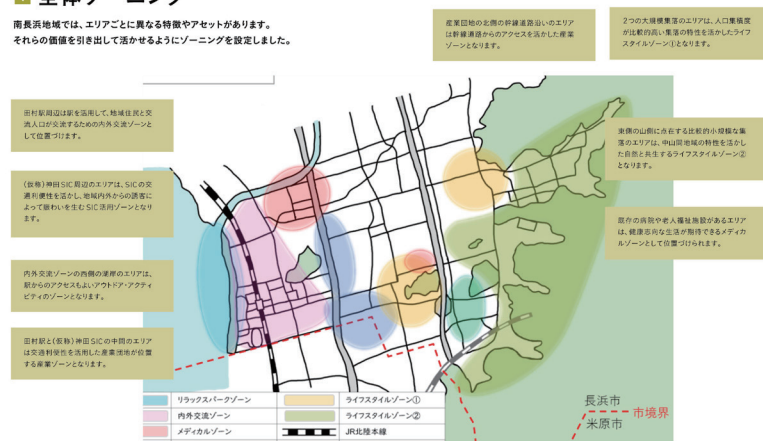
観光客や二拠点居住者などの関係人口は、ゲートウェイである南長浜を經由して長浜に流入します。こうした特徴を生かすことで、南長浜地域は、関係人口と地域住民が交流する場所となります。

南長根地域まちづくりビジョン 22

#5——南長浜地域のすがた

1 全体ゾーニング

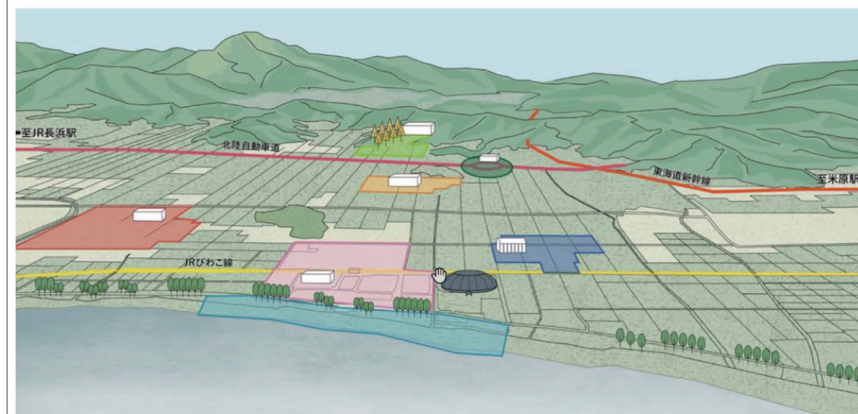
南長浜地域では、エリアごとに異なる特徴やアセットがあります。
それらの価値を引き出して活かせるようにゾーニングを設定しました。



南長浜地域まちづくりビジョン 23

#5——南長浜地域のすがた

2 2050年の南長浜地域 全体イメージパース



南長浜地域まちづくりビジョン 24

リラックスパークゾーン

リラックスパークゾーンは、琵琶湖岸の立地を活かしたアクティビティゾーンです。田村駅からのアクセスや整備された駐車場からのアクセスを活かして、様々な体験やサービスが提供される公共空間や商業空間で構成されます。



活動や取組み

琵琶湖岸を活かしたレイクアクティビティ

ゲートウェイ

湖岸のオープンスペースを活用して、琵琶湖のアクティビティを楽しむことができます。レイクスポーツを行ったり、琵琶湖の環境を活かした学習体験などが行われます。

JR田村駅を降りてすぐに車を停めてすぐに琵琶湖にアクセスすることができます。飲食店などで食事や休憩を取ることができます。

田村山の眺望を活かした商業活動

ライフスタイル

田村山では琵琶湖の眺望を楽しみながら食事や休憩を取ることができます。必要な食材は田村駅周辺のドラッグストアから選べられます。

田村駅を降りて、田村山までの程よい距離のハイキングを楽しむことができます。近隣住民だけではなく、ちょっとした観光スポットとして田村駅を利用して多くの人が訪れるようになります。



ターゲットプレイヤー

若者世代
子育て世代
観光客

向井 太郎

10～20代前半/大学生

アウトドアアクティビティが大好きな大学生の向井さんは、大学の友人を誘って湖岸のパークで友達と遊ぶことを楽しみにしています。

斎藤 漢

30～40代/子育て世代

斎藤さんは、休日になると3歳の娘と一緒に田村山を遊びに行きます。山頂のカフェで娘と一緒にランチをいただきます。この景色が娘の代まで受け継がれるようにと考えています。

内外交流ゾーン

リラックスパークゾーンは、琵琶湖岸の立地を活かしたアクティビティゾーンです。田村駅からのアクセスや整備された駐車場からのアクセスを活かして、様々な体験やサービスが提供される公共空間や商業空間で構成されます。



活動や取組み

琵琶湖岸を活かしたレイクアクティビティ

ゲートウェイ

湖岸のオープンスペースを活用して、琵琶湖のアクティビティを楽しむことができます。レイクスポーツを行ったり、琵琶湖の環境を活かした学習体験などが行われます。

JR田村駅を降りてすぐに車を停めてすぐに琵琶湖にアクセスすることができます。飲食店などで食事や休憩を取ることができます。

田村山の眺望を活かした商業活動

ライフスタイル

田村山では琵琶湖の眺望を楽しみながら食事や休憩を取ることができます。必要な食材は田村駅周辺のドラッグストアから選べられます。

田村駅を降りて、田村山までの程よい距離のハイキングを楽しむことができます。近隣住民だけではなく、ちょっとした観光スポットとして田村駅を利用して多くの人が訪れるようになります。



ターゲットプレイヤー

若者世代
子育て世代
観光客

向井 太郎

10～20代前半/大学生

アウトドアアクティビティが大好きな大学生の向井さんは、大学の友人を誘って湖岸のパークで友達と遊ぶことを楽しみにしています。

斎藤 漢

30～40代/子育て世代

斎藤さんは、休日になると3歳の娘と一緒に田村山を遊びに行きます。山頂のカフェで娘と一緒にランチをいただきます。この景色が娘の代まで受け継がれるようにと考えています。

産業ゾーン

リラックスパークゾーンは、琵琶湖岸の立地を活かしたアクティビティゾーンです。田村駅からのアクセスや整備された駐車場からのアクセスを活かして、様々な体験やサービスが提供される公共空間や商業空間で構成されます。



活動や取組み

琵琶湖岸を活かしたレイクアクティビティ

ゲートウェイ

湖岸のオープンスペースを活用して、琵琶湖のアクティビティを楽しむことができます。レイクスポーツを行ったり、琵琶湖の環境を活かした学習体験などが行われます。

JR田村駅を降りてすぐに車を停めてすぐに琵琶湖にアクセスすることができます。飲食店などで食事や休憩を取ることができます。

田村山の眺望を活かした商業活動

ライフスタイル

田村山では琵琶湖の眺望を楽しみながら食事や休憩を取ることができます。必要な食材は田村駅周辺のドラッグストアから選べられます。

田村駅を降りて、田村山までの程よい距離のハイキングを楽しむことができます。近隣住民だけではなく、ちょっとした観光スポットとして田村駅を利用して多くの人が訪れるようになります。



ターゲットプレイヤー

若者世代
子育て世代
観光客

向井 太郎

10～20代前半/大学生

アウトドアアクティビティが大好きな大学生の向井さんは、大学の友人を誘って湖岸のパークで友達と遊ぶことを楽しみにしています。

斎藤 漢

30～40代/子育て世代

斎藤さんは、休日になると3歳の娘と一緒に田村山を遊びに行きます。山頂のカフェで娘と一緒にランチをいただきます。この景色が娘の代まで受け継がれるようにと考えています。

SIC活用ゾーン

リラックスパークゾーンは、琵琶湖岸の立地を活かしたアクティビティゾーンです。田村駅からのアクセスや整備された駐車場からのアクセスを活かして、様々な体験やサービスが提供される公共空間や商業空間で構成されます。



活動や取組み

琵琶湖岸を活かしたレイクアクティビティ

ゲートウェイ

湖岸のオープンスペースを活用して、琵琶湖のアクティビティを楽しむことができます。レイクスポーツを行ったり、琵琶湖の環境を活かした学習体験などが行われます。

JR田村駅を降りてすぐに車を停めてすぐに琵琶湖にアクセスすることができます。飲食店などで食事や休憩を取ることができます。

田村山の眺望を活かした商業活動

ライフスタイル

田村山では琵琶湖の眺望を楽しみながら食事や休憩を取ることができます。必要な食材は田村駅周辺のドラッグストアから選べられます。

田村駅を降りて、田村山までの程よい距離のハイキングを楽しむことができます。近隣住民だけではなく、ちょっとした観光スポットとして田村駅を利用して多くの人が訪れるようになります。



ターゲットプレイヤー

若者世代
子育て世代
観光客

向井 太郎

10～20代前半/大学生

アウトドアアクティビティが大好きな大学生の向井さんは、大学の友人を誘って湖岸のパークで友達と遊ぶことを楽しみにしています。

斎藤 漢

30～40代/子育て世代

斎藤さんは、休日になると3歳の娘と一緒に田村山を遊びに行きます。山頂のカフェで娘と一緒にランチをいただきます。この景色が娘の代まで受け継がれるようにと考えています。

メディカルゾーン

リラックスパークゾーンは、琵琶湖畔の立地を活かしたアクティビティゾーンです。田村駅からのアクセスや整備された駐車場からのアクセスを活かして、様々な体験やサービスが提供される公共空間や商業空間で構成されます。



活動や取組み

琵琶湖畔を活かしたレイクアクティビティ

ゲートウェイ

湖畔のオープンスペースを活用して、琵琶湖のアクティビティを楽しむことができます。レイクスポーツを行ったり、琵琶湖の環境を活かした学習体験などが行われます。

JR田村駅を降りてすぐに車を停めてすぐに琵琶湖にアクセスすることができます。近隣住民だけでなく、飲食店などで食事や休憩を取ることができます。

田村山の眺望を活かした商業活動

ライフスタイル

田村山では琵琶湖の眺望を楽しみながら食事や休憩を取ることができます。必要な食材は田村駅周辺のドラッグステーションから選べられます。

田村駅を降りて、田村山までの程よい距離のハイキングを楽しむことができます。近隣住民だけではなく、ちょっとした観光スポットとして田村駅を利用して多くの人が訪れるようになります。



ターゲットプレイヤー

若者世代
子育て世代
観光客

向井 太郎

10～20代前半／大学生

アウトドアアクティビティが大好きな大学生の向井さんは、大学の友人を誘って湖畔のパークで友達と遊ぶことを楽しみにしています。

斎藤 漢

30～40代／子育て世代

妻さんは、休日に家族3人と一緒に田村山を遊びに行きます。山頂のカフェで娘と一緒にランチを過ごす。この景色が娘の代まで守られたいと考えています。

ライフスタイル①ゾーン

リラックスパークゾーンは、琵琶湖畔の立地を活かしたアクティビティゾーンです。田村駅からのアクセスや整備された駐車場からのアクセスを活かして、様々な体験やサービスが提供される公共空間や商業空間で構成されます。



活動や取組み

琵琶湖畔を活かしたレイクアクティビティ

ゲートウェイ

湖畔のオープンスペースを活用して、琵琶湖のアクティビティを楽しむことができます。レイクスポーツを行ったり、琵琶湖の環境を活かした学習体験などが行われます。

JR田村駅を降りてすぐに車を停めてすぐに琵琶湖にアクセスすることができます。近隣住民だけでなく、飲食店などで食事や休憩を取ることができます。

田村山の眺望を活かした商業活動

ライフスタイル

田村山では琵琶湖の眺望を楽しみながら食事や休憩を取ることができます。必要な食材は田村駅周辺のドラッグステーションから選べられます。

田村駅を降りて、田村山までの程よい距離のハイキングを楽しむことができます。近隣住民だけではなく、ちょっとした観光スポットとして田村駅を利用して多くの人が訪れるようになります。



ターゲットプレイヤー

若者世代
子育て世代
観光客

向井 太郎

10～20代前半／大学生

アウトドアアクティビティが大好きな大学生の向井さんは、大学の友人を誘って湖畔のパークで友達と遊ぶことを楽しみにしています。

斎藤 漢

30～40代／子育て世代

妻さんは、休日に家族3人と一緒に田村山を遊びに行きます。山頂のカフェで娘と一緒にランチを過ごす。この景色が娘の代まで守られたいと考えています。

ライフスタイル②ゾーン

リラックスパークゾーンは、琵琶湖畔の立地を活かしたアクティビティゾーンです。田村駅からのアクセスや整備された駐車場からのアクセスを活かして、様々な体験やサービスが提供される公共空間や商業空間で構成されます。



活動や取組み

琵琶湖畔を活かしたレイクアクティビティ

ゲートウェイ

湖畔のオープンスペースを活用して、琵琶湖のアクティビティを楽しむことができます。レイクスポーツを行ったり、琵琶湖の環境を活かした学習体験などが行われます。

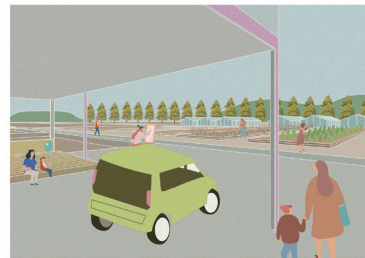
JR田村駅を降りてすぐに車を停めてすぐに琵琶湖にアクセスすることができます。近隣住民だけでなく、飲食店などで食事や休憩を取ることができます。

田村山の眺望を活かした商業活動

ライフスタイル

田村山では琵琶湖の眺望を楽しみながら食事や休憩を取ることができます。必要な食材は田村駅周辺のドラッグステーションから選べられます。

田村駅を降りて、田村山までの程よい距離のハイキングを楽しむことができます。近隣住民だけではなく、ちょっとした観光スポットとして田村駅を利用して多くの人が訪れるようになります。



ターゲットプレイヤー

若者世代
子育て世代
観光客

向井 太郎

10～20代前半／大学生

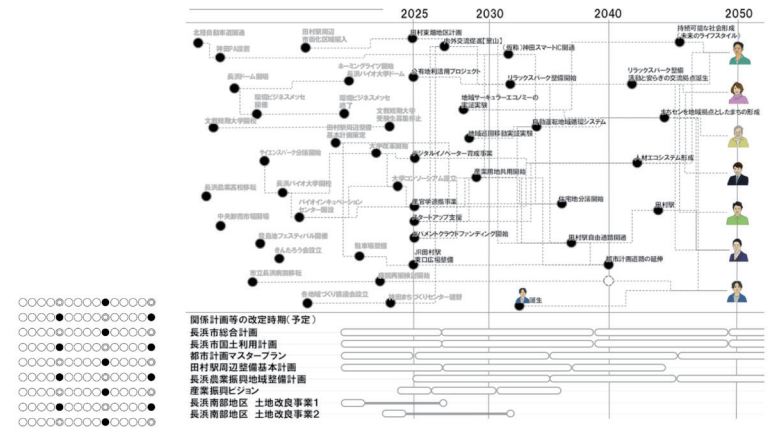
アウトドアアクティビティが大好きな大学生の向井さんは、大学の友人を誘って湖畔のパークで友達と遊ぶことを楽しみにしています。

斎藤 漢

30～40代／子育て世代

妻さんは、休日に家族3人と一緒に田村山を遊びに行きます。山頂のカフェで娘と一緒にランチを過ごす。この景色が娘の代まで守られたいと考えています。

5 ロードマップ



— 結びにあたって



いつ作った、どこがつくった、関係機関、等々○○○●○○○●●

問い合わせ先?

web?

裏表紙